

笑顔いっぱい公民館活動報告(夏休み寺子屋教室)

★「新聞紙でちぎり絵体験と流しそうめん」

8月4日(月)参加者38名。ちぎり絵が初めての子どもたちでしたが、新聞紙のカラー面から自分好みの色を探して作成していました。流しそうめんはどの子どもも楽しく行うことができ、ピザも美味しくいただきました。



★「小学生の科学～昆虫を科学の目で見てみよう～」

8月6日(水)参加者25名。この日は北中のボランティアが5名お手伝いをしてくれました。低学年と高学年に分かれて指導をしていただき、公民館館長特別講座「絵を読む」も好評でした。



ほっこい・きらきら・素敵なかまど

瑞浪北中学校1年亀津実良さん(中切在住)が8月9日～11日に大阪府堺市で開催された『第25回全日本中学生女子ソフトボール大会』に出場されました。

所属のチームは関市・瑞浪市・土岐市の中学生で構成される「関ソフトボールクラブ」です。



瑞浪北中学校3年小栗結乃さん(西大島在住)が8月17日～20日に大分県で開催された『全国中学校体育大会(第47回全国中学校ソフトボール大会)』に出場されました。

恵那西・恵那東・坂本・蛭川・福岡・瑞浪北中学校6校の合同チームです。



地域連携釜戸の千カラ

「地域と結びつく学校」

瑞浪北中学校 校長 吉田 知己

瑞浪北中学校が開校し7年目を迎えました。瑞浪市の70%が北中校区となり、釜戸小、日吉小学校区の生徒は6台のスクールバスで通学しています。学校の教育目標「自ら学び 自ら鍛える」とともに、開校以来引き継がれている目指す学校の姿は「地域と結びつく学校」です。

これまでも、各地域で行われる夏祭りや清掃活動、文化祭などのイベントに、地元の中学生在ボランティアとして参加し、学校生活だけではない学びの場を与えていただいていた。開校後も各団体からのボランティア参加の依頼がありますが、大きく変わった点は「地元の中学生」から、「北中の中学生」へ、募集範囲が広がったことです。

7月26日に行われた「釜戸町夏まつり」には、35名ほどの生徒がボランティアとして参加しましたが、釜戸地区の生徒は35%で、65%は他地区からの生徒の参加でした。中学生になれば少しずつ自分の行動範囲も広がりますが、他の中学校区となるとなかなか足を運ぶ機会はありません。しかし、出身小学校は違っても、5地区すべてが北中校区となれば話は変わります。生徒にとって、大切にしたい地域が広がり、70%の地域の皆様が、北中生徒の成長に関心を寄せていただけることは、北中学校ならではの財産です。

今後も中学生が広い視野をもち、主体的に社会参画できる力を育むことができるよう、地域との連携を深め、地域と結びつく学校を目指します。



ボランティアに参加した皆さんは、司会・出店のお手伝い・盆踊りに参加と様々なシーンで活躍しました。



空き家活用・移住推進チーム活動報告

*来年度に開催したいと計画している「釜戸駅前一日賑わい商店街」に向けて8月26日に東大島のサロンにお邪魔させていただき賑わっていた時代の街を思い返していただきました。皆さん昔を懐かしみながらワイワイガヤガヤ楽しい時を過ごしていただきました。

9月には「皆で作る10年後の釜戸駅前ワークショップ」を開催します。

詳細については回覧のチラシをご覧ください、こそって参加していただきたいと思います。

*瑞浪市では3回目のワーキングホリデーが9月10日より開催されます。釜戸にはカマドブリュワリーに1名が来られ、またカマドゲストハウスには別に2名の研修者が宿泊されます。ご近所の皆さん研修生を見かけたら気軽にお声がけしていただければ有難いです。

*新しく5件ほどの移住・空き家活用案件をいただいています。成果に結びつけられるよう丁寧な対応を心がけています。地域の皆さんからの情報もお待ちしています。

次回の定例会議 9月8日(月) 午後7時～ 釜戸公民館を予定しています

★オススメ釜戸分室の本★

「もっと体にいい!米粉100レシピ」

高橋ヒロ:著 主婦と生活社:刊

米粉をはじめ、はちみつやメープルシロップ、甘酒などを使ったグルテンフリーのレシピ集です。ほんとに休まる体に優しい料理に挑戦してみませんか?

★7月の貸出人数:11名 貸出数:25冊



★東濃厚生病院 巡回診療日★

《毎月第1・第3・第5水曜日》

【9月の診療日】9月3日・17日

【診療時間】14:00～15:30

【場所】釜戸公民館駐車場

【診療科目】内科

【問合せ】東濃厚生病院

医事課 ☎68-4111

※初診も可。

健康保険証・診察券をご用意下さい。